

## 第3回地域国際化推進検討委員会議事要旨

1 日 時 平成19年5月31日(木) 14:00~17:00

2 場 所 都庁第一本庁舎42階 特別会議室D

3 出席者

【委員】山脇委員長、梶村副委員長、金委員、丹委員、千代鳥委員、  
中西委員、中村委員、柳田委員、王委員

【東京都】和田都民生活部長、滝島市民活動担当副参事

4 会議要旨

(1) 答申(案)について(委員長指示に基づく事務局案の提示)

(2) 意見交換

【委員意見】

< はじめに >

- ・日本及び都内に在住する外国人が増えた背景については、例えば、「グローバル化の進展の中、国境を越えた人の移動が活発になり、その結果～」と言及してはどうか。
- ・外国人登録者の数については、最新データの掲載が可能ならば変更してほしい。
- ・参考資料として、巻末に都内の外国人登録者数のデータを入れる。
- ・「10年後の東京」についての説明をどこかに入れた方がよい。
- ・「外国人が日本人と対等な関係の下で暮らせる地域づくりを進めていく」という表現は、削除した方がよい。

< 外国人都民を取り巻く課題と都内の外国人支援団体の状況 >

1 外国人を取り巻く課題

- ・都内の外国人住民の特徴(国籍の多さや広域居住など)の表現を入れる。
- ・東京都や入国管理局のデータも間に合うならば、最新のものに変更した方がよい。

(1) コミュニケーション上の課題

- ・初めのところの表現は、「言葉や生活習慣が異なる外国人は、地域社会において誤解や摩擦が生じることがある」と変更する。

(2) 生活上の課題

- ・「生活上の課題に対応するためには、行政等が様々な情報提供を行う必要がある」という文言を追加する。
- ・病気や事故などの対応については、「医療通訳の情報」も加えてはどうか。
- ・「就業や住居に関する情報の提供が必要である」という文言を追加した方がよい。
- ・生活上の課題は、防災、医療、教育、就業・居住、起業、の順とする。

(3) 社会参加に関する課題

- ・「身近な町会や自治会、PTAなどの地域の活動に」の部分に、商店街とボランティア団体を加える。

#### (4)地域社会の課題

- ・「外国人が日本人と対等な関係の下で暮らすためには」を、「外国人が日本人と共生するためには」に変更する。

### 2 都内の外国人支援団体の状況

#### (3)在住外国人支援団体における課題

- ・タイトル及び1行目の「在住外国人の日常生活の～」から「在住」を削除する。

#### < 外国人都民の社会参加の促進に向けた役割分担 >

##### 1 国の役割

- ・その方針においては～のところに、「社会保障制度の見直しや」を追加する。

##### 2 都の役割

- ・意識啓発については、都民だけでなく職員等も加えてはどうか。
- ・外国人に対する効果的な情報提供では、日本語教育や子育てといった事例を加える。

##### 3 都の役割

- ・活動拠点づくりの整備や検討については、最初に述べた方がよい。
- ・情報提供については「簡単にみつけられるように」逐次提供する～と文言を追加する。
- ・「日本語教育を推進していく」の箇所については、「読み書きを含めた日本語学習機会の提供を推進していく」と変更する。

##### 4 民間団体の役割

- ・「外国人が地域社会でスムーズに定着できるように～」の後に、「日本語教室などの場を活用して」の文言を加える。

#### < 外国人都民の社会参加の促進に向けた役割分担 >

##### 2 民間団体に対する支援

#### (1)民間団体の外国人支援事業に対する支援

- ・支援対象の事業の事例を「子どもの教育支援や日本語教室、人材育成など」とする。

#### < おわりに >

- ・活動拠点については、「都も拠点づくりについての検討を行うことが必要である」と変更してほしい。

#### 【委員長によるまとめ】

本日の意見を踏まえて、事務局が答申(案)を修正するので、各委員には、修正した答申(案)の確認をお願いしたい。

次回の検討委員会の前までに答申(案)の最終確認を行い、問題がなければ本委員会の答申としたい。